

---



---

 シンポジウム
 

---



---

## 当院における医療安全管理の現況

### Risk Managements of Niigata University Hospital — Current Status —

#### 第 586 回新潟医学会

日 時 平成 14 年 12 月 14 日 (土) 午後 2 時 30 分～4 時 30 分  
会 場 新潟大学医学部 有壬記念館

司 会 相澤義房教授 (第一内科), 高橋 姿教授 (耳鼻咽喉科)

演 者 石井史郎 (産科婦人科講師), 細井千壽子 (第二外科看護師長), 堀田哲夫 (手術部副部長),  
富樫和枝 (輸血部臨床検査技師), 加藤 仁 (薬剤部薬剤主任), 三井田 孝 (検査部講師),  
吉村秀太郎 (放射線部主任診療放射線技師), 旭 正子 (医療安全管理部専任リスクマネージャー)

特別発言者 今井昭雄 (新潟市民病院副病院長)

発言者 番場朝子 (副看護部長)

司会 (相澤) 皆さんこんにちは。土曜日なのに集まっていたいただき、ありがとうございます。今回、安全管理部のほうから「当院における医療安全管理の現況」ということで発表いただきます。これは世の中がそういう時代になりましたので、やむを得ずといたしますか、進んでといたしますか、その中間くらいのところで、当院でも意識を高めるという意味で、このようなシンポジウムを新潟医学会との共催でさせていただきました。今日は各部署から現況を語っていただいて、そしてその議論の中からその原因、対策、さらに今後どうすべきか、そんなことの議論と方向づけができればと思っています。そし

て、市民病院の副院長の今井先生からこの皆さんの発表をお聞きになった後に、それを踏まえてのコメントを追加していただく予定であります。全般の演者紹介等、あるいは個々の症例につきましては高橋姿先生、そしてディスカッションになりましたら、二人でまた司会進行をさせていただきます。それでは高橋先生お願いします。

司会 (高橋) それでは司会代わりまして私がシンポジストの発表を案内させていただきます。お手持ちの資料など参考にされながら聞いていただければと思います。最初に医師部門として産婦人科講師であります石井先生、よろしくお願ひいたします。